

会 議 録

1 会議名

令和3年度第5回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

・令和3年度地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

【自主的審議事項】

・直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

令和3年7月13日（火）午後6時30分から午後7時46分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、
磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、坂井芳美、田中 実、
田村雅春、古澤悦雄、増田和昭、水澤敏夫、水島正人（欠席者4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【中澤会長】

- ・挨拶

・会議録の確認：今川委員、河野委員に依頼

議題【協議事項】令和3年度地域活動支援事業（追加募集）について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

・資料No.1「令和3年度地域活動支援事業（追加募集）直江津区 審査スケジュール（案）」に基づき説明

【中澤会長】

説明に対し、質疑を求める。

今の段階で、どれくらい提案が出そうか。

【小川係長】

今、相談が6件きている。全部が提案となるかはまだわからない。

【中澤会長】

・協議の結果、事務局案どおりとすることで委員から同意を得る

次に【自主的審議事項】「直江津まちづくり構想」について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

・資料No.2「自主的審議事項『直江津まちづくり構想について』」に基づき説明

【中村センター長】

・直江津区地域協議会説明資料「直江津屋台会館の改修工事の進捗状況等について」に基づき説明

【中澤会長】

「直江津屋台会館の改修工事の進捗状況等について」質疑を求める。

【古澤委員】

直江津屋台会館の修繕については、雨漏りの原因がわからないということだったが、3町内の屋台の上の雨漏りは完全に払拭できたのか。

【中村センター長】

館内いたるところで雨漏りが発生していたため、屋根全体を新しい屋根で覆ってしまうカバー工法にしていることから、雨漏りは解消するという担当課の説明である。

【中澤会長】

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想についてだが、今まで確認しているのは「五智公園を育てる会」「福島城を愛する会」「三八朝市周辺まちづくり協議会」から

現状をお聞きする。その後、問題点を委員同士で共有し合っ問題解決のためにどうするか話し合いを続けていこうという話までは終わっている。この3つで良いか。

また、地域協議会で各団体から来ていただいたときに、お互いに同じ目線で話し合えるのか。地域活動支援事業をこちらが採点をする立場で、向こうは採点される立場に受け取られているようなふしがあり、少し抵抗感があるという話も聞いている。率直にお互いに問題解決のためにどういう話し合いの仕方したら良いのか考えたい。1つの団体から話を聞いて、次に他の団体から話を聞いてではなく、複数の団体から一緒に同じ時間帯に話を聞いて、お互いに話し合うという方法もあるのではないか。

【増田委員】

取組に限界があるので、この3つで話を進めたら良いと思う。

【青山副会長】

その他で、うみがたりについて書かれているが、先日の新聞に水温を下げるために太陽光の遮光シートを取り付けた、これから冬に向かって防風壁をつけるという話が記載されていたが、その辺の状況について説明をお聞きしたい。

【中澤会長】

事務局とも話をしていたのだが、コロナ禍でうみがたりがどういう状況にあるのか、全体的な状況やイルカの話も聞きたい。機会をみて、館長から来ていただいて話を聞きたいと思っている。

3つの団体から現状報告をいただく。その話の聞き方についてはどうか。

【増田委員】

この際、地域活動支援事業の話は一切忘れて、この団体がどのように進もうと思っているか、課題は何かを地域協議会として一緒に考えるというスタンスで進めていったらどうか。

【中澤会長】

一緒にはいいが、例えば、10分ぐらいずつ区切って来ていただいて話を聞くという形ではなく複数の団体がこのフロアに同時に来ていただいて、話をしながら質問をするという形の方が良いのではないか。

【増田委員】

それぞれの団体に共通の課題はあまりないかもしれない。おそらく行政との関わりが、共通の課題になると思う。会長がおっしゃったように、それぞれの団体から20分ぐら

い「うちの課題はこうです。これからこういうふうに進めたいと思っています。地域協議会の皆さん、こういう点に知恵を貸してください」というふうな話をしてもらって、地域協議会委員からも「これはどうか」と意見交換すれば、2時間あれば3つの団体が1回で済む。それを聞いた後、具体的にどの団体からやろうかという話になっていくと思うので、そんな進め方でどうか。

福島城は、古城小学校の統合が時間的に迫ってきているので、行政が密接に絡むので、3つの中では1番急ぐのかと感じている。いずれにしても、当初は3つとも並行で課題として進めて良いと思う。

【田村委員】

私が気になるのは、行政とのかかわり、行政との住み分けである。それをどうやっているのかが不透明なので、いろいろなことを想像して自分で判断する側面が出てくる。とりわけ行政とどんな話をしてどのように決まるのか。暗黙の了解が、どのように進んでいるのかを知りたい。

【古澤委員】

三八朝市の関係でいろいろな会議に出席している。三八朝市の問題は実際に話すとかかなり長くなると思う。団体の人が来る前に、どういう現状なのか、どうしたらいいのか、こういう手を打ったらどうなのか、あるいは地域協議会に分かってもらいたい、ということをもとめてきていただかないと、なかなか話が前に進まないのではないかと。大事な真剣な問題なので、ある程度、皆さん方で討議してきていただいて、問題を明確にしながら、地域協議会と行政で手助けをしながらやっていくという方向を持ったほうが良いのかと思っている。地域協議会からも、話をするにあたって、ただ問題提起だけは駄目ですよと、ある程度、皆さん方の中で話を煮詰めてきていただいて、その中で一緒に解決しましょう。それは、すぐに結論が出るものではないと思う。ただ、何回かやっているうちに必ずある程度の目途が見えてくるのかと思うので、お互いに進捗を考えながらやっていったほうが良いと思う。

【中澤会長】

新しい委員で福島城を見ていない人もいると思う。1回見たほうが良いのではないかと。三八朝市も現状がどうなっているのかを実際に見る。そうすると今の状況がわかる。そんなことを1回企画しようかという話も事務局との間で出ているが、なかなか調整がつかない。私も三八朝市の状況はわかるし、磯田委員もアンケートを取られたので、出店

者の数、何年間の間にどれくらい減ったといった資料を持っていると思う。三八朝市から来てもらっても、その資料はないと思う。持っているとしたら、観光振興課から先に来てもらってその話を聞くとか、そういう話になると思う。

まず、何からいくか。どういう形で、その現状を聞くか。意見をいただきたい。

【田中美佳副会長】

何かしらのまとめがないと、漠然と話をしても時間だけが過ぎてしまうような気がする。先ほどお話いただいたように、団体からも問題点がどこで、どんな話をしてもらいたいのか資料をもらって、こちらで話をしてから皆さんにお聞きして深めていくほうが良いと思う。

【中澤会長】

関係団体から来てもらう前に、委員としてどういうことを聞きたいかを1回洗い出して、お互いに持っている知識を交換し合ってから、次の段階で来てもらう。もし可能ならば、実際にその現場を1回見て、話し合いで入るということになる。

【水島委員】

初めての自主的審議事項を審議するのであれば進め方としてこれでいいと思う。しかし、今まで何度となく自主的審議事項をやっている。その題材はあるはずである。今までこうだったが、これを今後どうしていくという話ならば、この場で協議がスムーズに行くのではないかと。まずその話をしないと一定のルールはあるはずである。今回はどうするかということだけならば、その話は用意してないのではないかと。だから皆さん黙っている。

【中澤会長】

直江津まちづくり構想は長年やっている。まず問題点の洗い出しは、地域協議会委員が変わってから去年もやっている。問題点を洗い出すが、大体そこで堂々めぐりをして、実は今までもずっとそこで終わっていた。個人的な言い方をすれば、その行き着く先をどこまでこの協議会で目標値をどこに置くかという話をしたいが、毎年そこまで行けないで終わっている。今回の地域活動支援事業業の中でも提案されている。それは期待している。そういう段階ではいるが、問題点をめぐってお互いに意見交換している段階を一步も出ていない。その次にどうするかという話をしたいと思っている。現状を直接お聞きしたいという話になっている。そこから改めてスタートしたいという話を前回確認したわけである。

【水島委員】

先ほど増田委員が言われたように、これに絞ってやるということは、ほかにもたくさん課題があると思うが、いくら盆に載せてもできないことであれば絞った中でやっていくしかない。それはそれで良いと思う。

【中澤会長】

改めて直江津まちづくり構想の話に入った段階で、実際に見に行けるか事務局と相談したいと思っている。去年のような視察を企画したいと思う。

皆さんが持っているノウハウをこの3つに絞って、1回視察をした後で意見交換して、具体的に何を現状として聞きたいのかということからスタートしていきたい。そのあとで、来ていただいて話をする。そのような道筋で良いか。

【田中美佳副会長】

直江津まちづくり構想は、毎回、皆さんで揉んでいるところで、結論を出そうとか、意見を出してみんなで話し合うことが大事と思う。皆さんそれぞれに思うことがあって今になっていると思う。どれが正解かというのがとても難しい問題であると思っているところで、もどかしいと思っている人もいるだろうし、こうすれば良いのではないかと考えている人もいると思う。どれが正解か本当に見えてこないのではないかと考えている。その中で、本当に問題だと思っている3つが良い方向にいければ良いのではないかと考えている。少しでもまちづくりの活性化にいければとても良いので、今、会長が言われたように話し合ってから、皆さんで深い話し合いができれば良いと思う。

【水島委員】

限られた会議の時間内で濃い話をするときに、ある程度基本線がないと「いかがですか」と言われて、どれだけの発言が皆さんから出てくるのか聞いているが、いつも同じ人が発言されていて疑問を感じる。永遠に時間があるのであれば審議が終わるまでやっても良いが、ちょっと違うような気がしたので、先ほどああいう発言をさせていただきました。

【田中実委員】

「直江津まちづくり構想」とは何なのか。実際に直江津のまちに誘客するような手だてを取りたいのか、箱物を造って誘客するものなのか。今、五智公園を育てる会、古城小学校、三八朝市で、地域協議会委員が直江津まちづくり構想で喧々諤々するような議題ではないと思う。県外から人を呼び込むような構想であれば、良い構想だと私自身も

思うが、話を聞いている限りでは、3つの議題で喧々諤々とするような議題でもない。五智公園を育てる会だが、例えば、五智公園に空中ブランコをつけるような構想であれば、これはまちづくり構想なのだと理解できるがこの3つの問題で、喧々諤々するような議題ではないと思う。

【田村委員】

直江津まちづくり構想は「住んでよし、暮らしてよし、来てよし」というまちをつくらうというのが、主題目だと私は思う。

【田中実委員】

田村委員の言われることは十分わかるが、そういう意味であれば、やはり直江津の町も歯っかけ状態で、70代以上の人達が大勢いらっしゃる。極端な話だが直江津の町を全部移転するのであれば良い提案ができると思うが、現状でまちづくり構想云々といってもなかなか話は進まないと思う。

【古澤委員】

地域協議会が3項目について一緒に盛り上げるためにはどうするか。先ほどの結論から出していただいて、私たちが少しでもお役に立てれば、これは地域協議会の役目かと思う。

今まで話の中では、結論が出ないで意見を出してそれで終わる。私もそれについて疑問があったが、例えば、三八朝市も実際は大分集客数も減っているし、店舗も年配になって出せない。いろいろ苦勞されている。そのためにはどうしたら良いかを知恵を出しながら、地元の関係者からも知恵を出してもらおう。あるいは、条件的にもどこの場所が良いのかも検証し、直江津を盛り上げていくことになるかと思う。直江津の町から三八の朝市をなくすと寂しさが募ってくると思う。

朝市を見ていると週末に当たると混んでいる。天気が悪いと気の毒なくらい出店できない。その辺は知恵を出し合いながら三八朝市については、無くすわけにいかない。そこをどうするかと言ったら、積み重ねていく、その後押しをするといったところでやっっていければと思う。

【中澤会長】

直江津まちづくり構想というタイトルに違和感があるが、簡単に言うと直江津のまちを活性化するための相談、安全・安心のまちづくりのためにどうすれば良いかを相談しようということで、地域協議会ができたときからの統一したネーミングでやってきた。

そういう意味合いでのまちづくり構想というネーミングをしている。8月の月末か9月に改めてまず現場を見る。それからお互いの情報交換を委員同士でして、そのあとで来てもらうというようなことの形で進めていきたいと思う。

先ほどの水島委員の話だが、どういう形で進めていきたいのかという話のところにもっていききたい。今まで「こういう問題がある」で終わっている。それを解決するためにどうするかという話をここでやりたいと思っている。そういう思惑で話をさせてもらっている。どういう手段で、どういう形で、また行政にどういう形で訴えていくかまで話を持っていければと思うし、あわせて問題が出てきたときにお互いに、指導・助言をする立場ではなく、お互いにその方策を一緒に考えていくと問題の共用はできるけれどその解決策を考えるというような会議を持っていききたいと思っている。この件は今日はこれで終わりにしたいと思う。具体的には改めて提案をさせていただく。

次に「その他」について事務局へ説明を求める。

【中村センター長】

- ・資料「なおえつうみまちアート説明会 次第」に基づき説明

【中澤会長】

久保田委員に補足説明を求める。

【久保田委員】

アートそのものは説明いただいたとおりである。会場は4か所だが、見学に来た人に町中に足を運んでもらうことを考えている。例えば、先ほどのロゴマークを大きくした暖簾を作って目印を作るとか、道路上に会場の案内看板を立てるとか、そういう手だてを考えている。各団体で作った町中歩きの地図が各種あるので、案内所や会場等で配布して、これを活用するような形で町中に足を運んでもらおうと計画している。

【中澤会長】

私も海岸に行くが、何かがポンと置いてあるが何なのかわからない。他の人も何をやるのか周知していない。

【中村センター長】

最後の実行委員会を経て、ポスターやチラシを配布する予定とのことである。

【増田委員】

全体像を示して、市民にどのように魅力を訴えるか断片的に説明をいただいているのでよくわからない。ワークショップは一部の人たちでできるので、大勢の市民の皆さん

にどうやって関心を持って来てもらうか。魅力の訴え方を工夫していただきたい。その事を私たちにもわかるように説明して欲しい。私たちも「何をやるのか」と聞かれたときに説明のしようがない。実行委員の皆さんが来ていないので、何とも言えないが、そういうことをぜひ伝えていただきたい。ごく一部の人たちだけで、高い税金を使って何かやっているということのないように最大限注意を払ってほしい。

【古澤委員】

自分の周りでも高齢者が多いので、何をやるのかよくわかっていない。昨日の説明会で聞いてある程度分かったが、ここが楽しいですよというセールスポイントみたいなものがない。これからチラシを配布するとのことなので、高齢者も行ってみようと思うものを前面に出しながらやっていただきたい。ぜひ、成功させてほしい。

【中澤会長】

他にいかがか。

【小川係長】

・次回の協議会：8月6日（金）午後6時30分～

【中澤会長】

その他、皆さんから何かあるか。

【田村委員】

3点伺いたい。

1点目、地域活動支援事業の財産として、それぞれの団体が公金で作ったものは、毎年チェックされているのか。例えば、草刈機の刃など駄目になったものはどうしているのか。去年のスカットボールは、台帳で管理しているのか。以前、港町で防災道具を購入したが、トランシーバーがなくなったという話を聞いたことがあるが記録として残っているのか。

2点目、北前船のマップは何月何日付けでつくったのか。地図にかなり間違っている部分がある。石橋のマクドナルドが移転している。ホテルα1の近くに「市民いこいの家」という上越市の施設がある。これが抜けているのは何か意図があるのか。

3点目、学びの交流館の駐車場を新しいマンションに作ったが、利用状況はどうなのか。6月に学びの交流館を利用したが、なかなか空いていなくて、隣の駐車場をお借りした。利用状況がわからなかったのでお聞きしたい。

以前、「看板の文字が小さいのではないか」という話もあったかと思うが、どうなって

いるのか。

【中村センター長】

1点目、地域活動支援事業で購入された備品の管理だが、財産の台帳を各団体で作成して管理していただいている。その台帳を事務局でチェックはしていない。その団体で責任を持って管理していると認識している。

2点目、北前船のマップについては、先月末くらいの作製と思う。原稿は事務局で確認していない。団体のほうで責任を持って作っていただいている。間違いがあった点は残念だが、事務局のほうからすぐに伝えさせていただきたい。

3点目、学びの交流館の駐車場だが、昨年度、事務局で学びの交流館から資料をいただいて、報告させていただいた。周知の方法がなかなか難しいと聞いている。また、看板の文字が小さいのではないかという意見については、学びの交流館に伝えてある。看板については「業者に作ってもらったしっかりした看板なので、すぐに約束はできない」という返事もらっている。

【磯田委員】

2点目について、今まで、私もたくさんマップを作ってきたし、いろいろな団体がチラシを作っているが、一つ一つを点検して校正チェックする必要があるのか。基本的にはないと思っているし、今までもそういう指導を受けていない。何回も校正をしても誤字脱字があるのは致し方ないことかと思っている。それから、このマップは北前船が運んできたものという趣旨で、地図上に何を表現するかは、主催者団体がこのマップのために作って、選んで物事を決めてきているわけで、そこに「上越市民いこいの家」が載っていないと言われても、それは田村委員の主観だと思う。このマップの趣旨からすれば、載ってなくても良いと思う。主催者団体がどういうマップを作るかを審査し採択しているので、あえて言わなくても良いところかと思う。

3点目について、学びの交流館の駐車場だが、日中は学びの交流館を使いたい人は、どこにでも停めて良く、基本何台でも停めて良い感じになっているはずである。むしろ、以前からホテルの宿泊客が学びの交流館のゾーンに停めてしまう問題がある。私も館長に何度か話をして、改善してもらおうようにホテルのほうに文書で出して欲しいとお願いしてはいるが、今でも他県ナンバーの車が学びの交流館ゾーンの駐車場に停まっている。むしろそちらのほうが問題かと思っている。

【田村委員】

私は主観で言っているのではなく、他の上越市の施設が載っているのに何故載せなかったのかと聞いている。コンビニが載っているのに上越市の施設が載らないのかがわからない。これは主観ではなく公の委員なのだから、このように考えたほうが良いのではないか。

駐車場の件は、確かに他県ナンバーの車も多く学びの交流館のゾーンに停めてある。私が聞きたいのは利用状況である。混み具合ではなく、マンションの駐車場が利用されているのかを聞いている。30台用意すると言っていたが、それが埋まっているときがあるのか聞きたい。

【中澤会長】

利用状況については、また何か機会があったら、学びの交流館に問い合わせをしてきたいと思う。

【増田委員】

備品の管理の話があったが、前期の委員の時に備品の管理については、「高額のものもあるからしっかりやってほしい」と協議がされている。それを踏まえて、「作って下さいではなく、作っていますか、どうなっていますか」とチェックをしていただかないと、1年に1回で良いので、団体と意見交換しながら、「けしからん」という態度ではなく、「どうなっていますか」というようなことをやっていかないといけないと思う。

【中澤会長】

その辺は提案してきた段階で、あわせて確認していただければありがたい。

【中澤会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。